

あさひざ
「旭座人形芝居」(県指定無形民俗文化財)

- 1 日 時 平成29年11月3日(文化の日) 13時 開式
- 2 場 所 旭座人形芝居会館 八女市黒木町笠原5005-2
- 3 外 題 ^{ことぶきしきさんばそう}「寿式三番叟」(旭座人形芝居保存会)
^{けいせい あ わ な る と}「傾城阿波鳴門」^{じゅんれいうた}巡礼歌の段(黒木小学校児童)
^{げんさんりやくのまき}「鬼一法眼三略巻」^{ごじょうはし}五条橋の段(旭座人形芝居保存会)
^{だ て むすめこいの ひ が の こ}「伊達娘恋緋鹿子」^{ひのみやぐら}火の見櫓の段(勘緑&艶恋座)
- 4 観 覧 無 料
- 5 アクセス 九州自動車道 八女ICより約23km、車で約1時間
※駐車場あり
- 6 連 絡 先 八女市役所 文化振興課文化振興係
☎ 0943-24-8163 (係直通)
- 7 概 要 「旭座人形芝居」は、明治5年(1872)頃、黒木町笠原^{わにばち}鰐八集落に浄瑠璃の名人が現れ、祝いの席で瓢箪や徳利を人形に見立て浄瑠璃にあわせて操ったのが始まりとされます。
昭和30年、福岡県無形文化財の指定に際して保存会を結成し、平成11年に「旭座人形芝居会館」が落成し、5戸の座元と一般会員で継承しています。また、八女市立黒木小学校でも「人形浄瑠璃クラブ」で伝統を継承し、本公演や笠原まつりで公演を行っています。

